

小倉山通信

平成28年2月5日
No.38

第14回紅駿サミット開催

2月3日(水)朝に、第14回紅駿サミット(2年生学年集会)がありましたので紹介します。

はじめの言葉が佐藤夢夏さんからあり、「今日のテーマは『最近の日本のニュースについて』です。」とありました。

○A組 水平翔さん

私が気になっているニュースは「前期選抜の高校の記事について」です。何日か前に秋田県の各高校の入学試験の倍率が発表されました。試験の様子がテレビでも放映されました。定員に対して倍率がとても高い学校、割れている学校がありました。受験生の皆さんの真剣な顔、終わった後の安心した顔を見たとき、自分の勉強の量を考えてこれでいいのかなあ、と強く思いました。自分は来年一般入試で頑張るつもりですが、3年生の先輩達の面接練習、勉強の様子を見て、今のこの時期を大切にしていきたいと思います。試験には面接もあります。先生に対する話し方や態度をしっかりとして普段の生活の中で身に付けたいと思います。そして自分の考えを恥ずかしがらずに堂々と述べられるようにコミュニケーション力を高めていきたいと思います。来年の15の春が笑顔でみんなに報告できるように頑張りたいです。

○B組 田口朋輝さん

僕がこの頃のニュースで気になっているのは「スマップの解散報道」です。僕はメンバーの中で香取慎吾さんが好きで、スマップの番組で「おじゃまっぴ」が特に好きです。歌や番組の司会などの色々なジャンルで活躍しているのがスマップです。日本のファンが多いグループなので解散しなくてよかったです。これからもスマップを応援していきます。

○C組 坂本真陽さん

最近のニュースで気になったのは経済産業大臣の甘利大臣の辞任です。安倍政権を3年間支え続けてきた実力のある大臣です。その甘利大臣がお金の問題で辞任しました。生活の色々な面に影響するTPP交渉や農業や製品を守るために頑張ってきた人なので、もっと日本のために頑張ってもらいたかったです。ちなみに後任は石原伸晃さんです。お天気キャスターやタレントで活躍する石原さんのお兄さんです。石原大臣にはお金の問題で辞任などしないようにしてほしいです。

○D組 木村拓人さん

「ジカ熱」についてのニュースが気になります。ジカ熱は外国で流行っていて主に妊婦さんがかかる病気です。その病状は赤ちゃんが頭が小さい状態で生まれてくるということです。そのニュースに対して僕は、すごくかわいそうだと思うたし、健康で生まれてくるというのはすごく素晴らしいことだと思いました。また、日本の最新技術でこのジカ熱に対して何かできないかと考えました。ジカ熱の治療法が見つければいいなあと思いました。

感想発表はでB組の藤原舞さんは「最近重大なニュースがたくさんあってびっくりした。私も来年受

験なので、新聞の前期入試の問題を見て、勉強していきたい」とありました。C組の野村京平さんは、「ニュースには世界のこと、経済のこと、日本のこと、これから僕たちに関わる受験のことなど、たくさんニュースがあり、このニュースを、これからの生活、そう遠くない未来に生かしていきたい。」とありました。

学年生徒会から原丈士さんのスピーチ。

「2年生としての生活もあと一ヶ月です。3年生の先輩達は前期選抜試験を終えた人、高校入試に向けている先輩達など自分の進路に向けて今、精一杯頑張っています。僕たちも2年生も期末テストに向けて頑張らしましょう。そして今自分たちがすべきことは何なのか、という意識をもって、他の学年から2年生は勉強も頑張っているし生活態度も立派であると思ってもらえるよう、一日一日を大切に過ごしましょう。最後になりますが、明日のスキーは楽しみですか?!(はい!)いいですねえ。明日も今日より元気を出して、けがなく楽しい思い出をつくりましょう。」

サプライズがありました。

執行部が「山崎先生前へ出てください。」の合図がありました。

「山崎先生、男児誕生おめでとうございます！」(大拍手)

執行部：これから質問をします。今の心境はいかがですか？

山崎先生：自分の気持ちが優しくなっているのが分かります。今だったら何をされても怒らない自信があります。

執行部：名前は考えていますか？

山崎先生：候補は二つあって、明日の夜に家族で話します。

執行部：親になる先輩として2年生に一言お願いします。

山崎先生：男の人は奥さんのサポートをしっかりすることです。女性はすごいなあ、と思いました。男は誰もまねできないなあ、と思いました。その女性のすごい姿を見ますので、その姿を見ても好きだな、と想う人と結婚してください。

執行部：ありがとうございました。

終わりの言葉は林崎理桜さんでした。

「明日はスキー教室です。皆さん楽しんでスキー教室を行いましょう。これで第14回紅駿サミットを終わります。」

朝から心がほんわかとなったひとときでした。2年生の皆さん、ありがとうございました。

翠星フラッシュアップ集会開催

2月5日(金)朝、1年生が翠星フラッシュアップ集会を開催しました。

テーマは、「私の勉強法」です。

代表6名、感想発表3名の方のスピーチがありました。



A組の倉田光さんは「ワークを多くやること」そして「親や塾の先生から教科書をよく読め」と言われ「教科書もよく読みたい」「テスト前家庭学習時間を増やす」と話しました。

同組の村瀬僚さんの勉強法は「字をきれいに書く」でした。このことによって、「内容が頭に入り、見直すことができる」とありました。

B組の加賀谷愛美さんの勉強法は、「教科書やワークを見比べて重要なところにアンダーラインを引いて声に出して何度も読むこと」でした。そして、「暗記するためにお風呂や暇な時間に、ずっとつぶやくこと」だそうです。更に「一人勉強ノートに矢印や吹き出しなどの記号をつかってまとめることで重点を分かりやすく覚えることができる」ともお話しました。

同組の橋本凌花さんの勉強法は「分からないところや何を勉強すれば良いのか、先生や友達に聞く」でした。このことによって、「テストで全部書けるようになった」そうです。

C組の柏谷真愛さんの勉強法は、「苦手な社会では単語を隠してそれをテストのようにしてやり、間違えた問題だけをノートに写して次の日に、間違えた問題だけを解いてみるという方法でやってみる」でした。これで、「社会の授業で前よりも意味が分かるようになってきた」そうです。

同組の戸澤千華さんの勉強法は「ワークで間違えたところを一人勉強ノートでやること」です。それで、「覚えたところが出たときは、すらすら解くことができた。」そうです。

感想発表では、A組の鈴木飛来さんが「僚さんの発表を聞いて、字を丁寧に書く大切さを知った。」

そうです。そして、「字をきれいに書く」と自分のノートを確認することができる。」ことが分かったそうです。B組の佐藤侑和さんは、「6人の発表を聞いて、どれも自分の勉強につかえそうなことばかりだった」そうです。「字が決して上手ではないので、村瀬さんのように字を丁寧に書く練習もしたい」そうです。C組の上野勇と人さんは「光さんのワークを見て勉強する」が大事だと思ったそうです。



私は中学生のときに、社会科があまりよく頭に入ってきませんでした。でも、周りの友人達はなぜか社会のテストの成績が私よりも20点も良かったです。どうしてかなあ、と思ってもそのときは、その人に勉強法を聞く、なんてことはできませんでした。今日の1年生の皆さんの発表を聞いて、社会科の勉強法も柏谷さんのようにやったら、もしかしたら社会科が得意になるのではないかと思いました。そしてもう一回中学生時代に戻って社会を勉強したい、そんな気持ちになりました。スピーチをしてくれた皆さん、ありがとうございました。

第2回スキー教室開催

2月4日(木)、今期一番の快晴の下、たざわ湖スキー場にて第2回スキー教室が開催されました。

1回目を経験しているせい、整列がとてもはやく、予定時間の9時45分前に、開講式を行いました。今回は、体育委員会が運営し、2年生の佐々木

一生さんが司会を行いました。校長あいさつに引き続き、講師の先生方の紹介、そして高橋太陽さんによる先生方への「お願いします」のあいさつと順調に開講式が進み、井合先生の諸注意の後、すぐに先生方の周りに集まって、一日のスケジュールについての確認、そして準備運動を始める班もありました。

私は、1年生の上級者11名と一緒に滑りました。最初にかもしかコースに行き、まずは足慣らし。11名の技術は素晴らしく、相当なスピードでもついて来ました。かもしか右側を二回滑走し、次は左側のジュニアコースへ。ここは右斜面よりも緩やかなはずでしたが、なぜか深雪に生徒が絡まってしまい、転倒やスキーが外れる生徒が出ました。でも、生徒は「もう一回トライしましょう。」と再びジュニアコースを滑走しました。

次は、銀嶺第二(銀嶺クワッドリフトの下)を2回、かもしかの林間コース、そして、銀嶺第3を2回滑って昼食となりました。

昼食では1000円以内で、それぞれが値段と食べ物を計算して食べていました。

昼食時間が終わり、いよいよ午後開始。午後は銀嶺クワッド、かもしかクワッドリフト、銀嶺第3の左斜面に挑戦しました。そこもクリアーしていよいよチャンピオンコースを攻略!と宣言しました。銀嶺第3の右側を滑走し、更に右側に行きました。深雪でこぶ、という状況でしたが、大きく曲がる、を合い言葉に中程まで来ました。「先生、小回りでもいいですか?」という声があったので、「好きなように滑ってついて来なさい。」と言いました。

すると、2名の生徒が小回りに拍子を入れて「1, 2, 1, 2」と声を出してやるとそれに従って右、左と小回りで深雪を降りることができるようになりました。このチャンスを捉えて、全員に、小回りのコツを話し、一人ずつ、深雪の中での小回りを行いました。その後は

水沢スキー場上部まで、なんとか全員滑走できました。そして、レウ前に到着、トイレを済ませたら午後2時。全員に「あと一回で予定時間は過ぎますね。」と言ったら「先生、もう2回お願いします!」と。しかしながら、11人が一斉に同じ速さ動くことはできないので、国体コースか銀嶺第二のどちらを降りてきて終わりにすること伝えました。ほとんどの生徒が国体コースを希望したので、その日学んだいような滑りで降りてきました。11人の生徒に、来年も私を講師として指名してください、わくわくどきどきの滑走を来年もしましょう、と告げて終わりました。今回、合計12回リフトに乗りました。

閉講式は、感想発表と先生方に全員でお礼のあいさつで終わりました。滑走者全員が大きな事故もなく、スキーを満喫した一日でした。講師の先生方、本当にありがとうございました。そして来年もよろしくお願ひいたします。

